

平成28年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉県科学館
条例上の設置目的	千葉県科学館設置管理条例（平成18年千葉県条例第44号） 第1条 本市は、科学に関する知識の普及及び啓発並びに青少年の創造力のかん養を図り、市民文化の発展に寄与するため、千葉県科学館を設置する。
ビジョン （施設の目的・目指すべき方向性）	
ミッション （施設の社会的使命や役割）	
制度導入により見込まれる効果	民間の事業者の有するノウハウを活用することにより、市民サービスの向上につなげる。
成果指標※	
数値目標※	
所管課	千葉県教育委員会事務局生涯学習部生涯学習振興課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	トータルメディア開発研究所・凸版印刷共同事業体
構成団体 （共同事業体の場合）	株式会社トータルメディア開発研究所 凸版印刷株式会社
主たる事業所の所在地 （代表団体）	東京都千代田区紀尾井町3番23号
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年）
選定方法	公募
非公募理由	
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

3 管理運営の成果・実績

（1）成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	H28年度実績	達成率※

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

（2）その他利用状況を示す指標

指 標	H28年度実績
利用者数（人）	417,499人
プラネタリウム稼働率（%）	34.3%

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	H28年度	【参考】 H27年度	計画実績差異・要因分析			
			差異		主な要因	
指定管理料	実績	412,394	449,423	実績－計画	0	消費税が5%→8%に上がったため。
	計画	412,394	449,423	計画－提案	11,455	
	提案	400,939	436,939			
利用料金収入	実績	58,248	55,719	実績－計画	△ 6,552	入館料収入の減
	計画	64,800	61,600	計画－提案	△ 3,200	入館料収入の減
	提案	68,000	62,900			
その他収入	実績	26,693	26,566	実績－計画	△ 2,007	ミュージアムショップ売上の減
	計画	28,700	28,700	計画－提案	△ 12,800	ミュージアムショップ売上の減
	提案	41,500	41,500			
合計	実績	497,335	531,708	実績－計画	△ 8,559	
	計画	505,894	539,723	計画－提案	△ 4,545	
	提案	510,439	541,339			

イ 支出

(単位：千円)

費目	H28年度	【参考】 H27年度	計画実績差異・要因分析			
			差異		主な要因	
人件費	実績	221,885	215,045	実績－計画	△ 2,355	人事異動、給与改定による
	計画	224,240	232,675	計画－提案	7,445	人事異動、給与改定による
	提案	216,795	216,795			
事務費	実績	45,624	51,372	実績－計画	△ 15,736	展示製作費の減
	計画	61,360	80,748	計画－提案	△ 24,457	印刷製本費の減
	提案	85,817	86,555			
管理費	実績	116,509	129,266	実績－計画	△ 15,985	光熱水費の減
	計画	132,494	168,500	計画－提案	△ 33,776	保守点検費の減
	提案	166,270	170,432			
委託費	実績	80,868	85,524	実績－計画	10,868	委託費の増
	計画	70,000	9,000	計画－提案	64,571	委託費の増
	提案	5,429	5,429			
その他事業費	実績	13,926	38,297	実績－計画	△ 3,874	ミュージアムショップ商品仕入原価の減
	計画	17,800	48,800	計画－提案	△ 14,800	ミュージアムショップ商品仕入原価の減
	提案	32,600	58,600			
本社費・共通費	実績			実績－計画	0	
	計画			計画－提案	0	
	提案					
合計	実績	478,812	519,504	実績－計画	△ 27,082	
	計画	505,894	539,723	計画－提案	△ 1,017	
	提案	506,911	537,811			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

--

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		H28年度	【参考】 H27年度
自主事業収入	実績	3,038	2,925
その他収入	実績	0	0
合計	実績	3,038	2,925

イ 支出

(単位：千円)

費目		H28年度	【参考】 H27年度
人件費	実績		
事務費	実績		
管理費	実績		
委託費	実績		
使用料	実績		
事業費	実績		
利用料金	実績		
その他事業費	実績	1,953	1,956
本社費・共通費	実績		
合計	実績	1,953	1,956

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位：千円)

		H28年度	【参考】H27年度
必須業務	収入合計	497,335	531,708
	支出合計	478,812	519,504
	収支	18,523	12,204
自主事業	収入合計	3,038	2,925
	支出合計	1,953	1,956
	収支	1,085	969
総収入		500,373	534,633
総支出		480,765	521,460
収支		19,608	13,173
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績 (成果指標の目標達成状況)

評価項目	市の評価	特記事項
利用者数 (人)	C	目標値の104.4%を達成した。
プラネタリウム稼働率 (%)	B	前年度比106.2%を達成した。

【評価の内容】 ※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。
 A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)
 B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)
 C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
 D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
 E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費削減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	選定時の提案額と同額（消費税増税分の差異はあり。）

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
- B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
- C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
- (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
- ：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	A	A	ボランティア、メンバー会等の個人情報を適切に管理し、次期指定管理者へ引継を実施した。リスク管理体制を整え、市内公共施設での爆破予告等へも適切に対応した。
市民の平等利用の確保			
関係法令等の遵守 リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力			
(1) 人的組織体制の充実	A	A	館長以下幹部職員の安定した体制を維持。国立科学博物館、日本科学未来館等関連施設での専門研修等にも積極的に参加した。
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置 従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務	B	B	専任保守要員を常時配置し展示や設備の経年不具合に対して最大限の対応をした。
施設の保守管理 設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮			
(1) 幅広い施設利用の確保	B	B	利用者の利便性を優先した休館日設定に努めた。企画展・特別展開催時はセット券を発行し、お得感のある券種販売にも努めた。
開館時間・休館日			
利用料金設定・減免 利用促進の方策			
(2) 利用者サービスの充実	A	A	平成27年度末運用開始のたんQひろばを活用した未就学児向けプログラムの実施。市内で好評な学校スカイラインの市外校への対応。
利用者への支援 利用者意見聴取・自己モニタリング			
(3) 施設における事業の実施	A	A	プラネタリウムと連携した企画展・特別展の実施など積極的な事業の実施に取り組んだ。「星と音楽のひととき」は各回100%充席率となった。
施設の事業の効果的な実施 自主事業の効果的な実施			
4 その他			
市内業者の育成 市内雇用への配慮 障害者雇用の確保 施設職員の雇用の安定化への配慮	B	B	市内NPO法人との事業の継続に努めた。職員の労働安全衛生面への配慮として、産業医を配して、定期面談の場を設け相談・指導へ対応した。

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
- D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
- E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 教育委員会指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
高齢者を対象とした科学講座やイベントを増やすよう努めること	平成26年度	シニア科学事業の開催を拡大して、高齢者の参加者増加に努めた。
利用者数、プラネタリウム稼働率について、さらなる増加を目指すこと	平成27年度	利用者数は前年度比103.4%、プラネタリウムは前年度比106.2%を達成した。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	館内にアンケート用紙と回収箱を2ヶ所に設置。アンケートは後日郵送できるようにハガキ大に設定。
	回答者数	702票
	質問項目	フェイスシート項目:年代・会員、非会員・住まい 質問項目:来館回数・同伴者・科学館全体印象・施設印象・再来館の意思・自由記述
結果	<p>ア 回答者の属性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年令 1～12才 44.1% / 13～19才 9% / 20代 9.3% / 30代 11.3% / 40代 15.7% / 50代 3.7% / 60歳以上 2.8% / 無回答 4.1% ・科学館会員比率 会員 18.3% / 非会員 81.7% <p>イ 来館回数 はじめて 26.1% / 2～3回目 24.7% / 4回以上 49.2%</p> <p>ウ 科学館全体印象 とても良い 73.7% / まあ良い 20.7% / 普通 4.5% / あまりよくない 0.6% / 悪い 0.5%</p> <p>エ 施設印象 とても良い 68.1% / まあ良い 25.1% / 普通 5.2% / あまりよくない 1.1% / 悪い 0.5%</p> <p>オ 再来館の意思 ぜひ来てみたい 77.7% / 機会があればきてみたい 19.4% / どちらとも言えない 2.3% / 来たくない 0.6%</p>	

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
施設の全体的な印象として高評価が多く、再訪問を希望する声も多かった。スタッフやボランティアの対応についても、「丁寧」「親切」といった声が多く寄せられた。	
少年少女科学クラブの対象者が千葉市在住のみとなったことが残念。	担当より理由を説明。県内には他にも科学クラブがあるため、自宅近隣の科学クラブを紹介した。
ボタンやディスプレイが壊れていたり、調整中の展示が多い。	専門スタッフが順次巡回をして修繕を行っている。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括評価	A	所見	<p>1 利用者数 設備の経年を補うべく各種プログラムの展開を図り、2か年連続40万人超の417,499人（昨年度比103.4%）を達成した。</p> <p>2 行政施策との連動 「千葉市科学フェスタ」の事務局として館長以下職員一丸となってメインイベント他に取り組み成功に導いた。</p> <p>3 外部連携・資金獲得への挑戦 積極的に外部連携・外部資金獲得へ挑戦し、日本科学館「つながりプロジェクト」などを実施した。</p> <p>4 職員雇用への対応 指定管理者更新年度となり指定管理者が変更となるも、雇用職員の他施設への異動、新指定管理者への引継対応等職員の雇用の安定に努めた。</p>
------	---	----	--

(2) 市による評価

総括 評価	A	所見	<p>(1) 入館者数が開館以来最大の417,499人を記録し、目標値の104.4%、前年度比103.4%を達成している。スタッフの丁寧な対応や、体験型企画展の実施、魅力的なプラネタリウムプログラムの導入など地道な努力が伺える。</p> <p>(2) 「ウルトラマン」と科学を関連付けた企画展や科学捜査に関する企画展など、来館者の興味を引く体験型の企画展を多く実施することで、企画展の入館者数も過去最高を達成した。</p> <p>(3) 千葉市科学フェスタ2016メインイベントでは、「免疫」「地震」「ウナギ」といった近年関心の高いテーマの講演や360° VRシアター、未就学児向けのワークショップなど幅広い企画を実施し、来場者が前年度比118.2%となり過去最高となった。</p> <p>(4) 科学館職員を研修、視察などに積極的に派遣することで、新たな課題発見の場を提供した。また、きぼ一外でもアウトリーチ活動を実施し、積極的に地域社会への貢献を果たした。</p> <p>(5) 科学捜査に関する企画展と名探偵コナンのプラネタリウム番組とのコラボの実施、大人をターゲットにしたKAGAYA展など、現状維持に留まらず、新たな試みに挑戦した。</p> <p>(6) 産業医の配置など、職員の安全衛生に気を配り、雇用の安定に努めた。</p>
----------	---	----	---

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 教育委員会指定管理者選定評価委員会の意見

※ 平成29年度から、指定管理者変更のため、選定評価委員会による評価は実施しません。